

道徳性の発達に関する研究(10)

大学生のカンニング意識について

佐藤 公代

(教育心理学教室)

酒井 千尋

(学 生)

(平成15年10月23日受理)

Study on the Moral Development (10)

The University Student's Opinion of Cheating

Kimiyo SATOU and Chizuru SAKAI

(問題と目的)

佐藤は「道徳性の発達に関する研究(1)-(9)」において、いろいろな観点から言行一致を試みた。今回は、大学生にとって、カンニングがいかに重い罰則を強いられるかについて、説明を試みながら学生の意識をさぐる。そして、カンニングがなくなる手だてを考えようとする。

学生の生の声を大事にしながら、内面に入り込んでいく基礎資料として、今回の研究を位置づけたい。

仮説は次の通りである。

- (1) カンニングについて悪いことはわかっているし、やる人は少ないだろう。
- (2) 勉強不足の場合、カンニングをしてみたいという気持ちは、少人数ながらわき起こる場合があるだろう。
- (3) 女性は男性より感受性が高いので、差が見られるであろう。

(方 法)

- 1) 調査期日：2003年6月
- 2) 対象者：E大学生1, 2, 3回生144名(男性62名, 女性82名)
- 3) 手続き：筆者独自作成のアンケート用紙に無記名で回答してもらう。

4) データの処理の仕方：パーセントを出して比較する。100%にならない場合もあるが、大体のめやすとして、数値を扱っている。 χ^2 検定もあえて行なわない。統計操作よりも、学生の生の声を主な指標とする。(理由を書く欄も自由記述の欄も学生の自由にまかせる。)

(結果と考察)

(1) カニングの話聞いて、「非常に驚いた」が男性31%、女性4%、「驚いた」が男性34%、女性41%、「わからない」が男性15%、女性18%、「驚かない」が男性18%、女性33%、「全く驚かない」が男性2%、女性5%である。男性65%、女性45%が「驚き」、「驚かない」のが、男性20%、女性38%である。

次に、回生ごとに分析してみる。1回生の男性は56%、女性は41%、2回生の男性は69%、女性は53%、3回生の男性と女性は100%、「驚く」と回答している。「驚かない」のが、1回生の男性28%、女性42%、2回生男性15%、女性29%、である。「わからない」は、1回生男性16%、女性18%、2回生男性15%、女性19%である。やはり、「驚く」のは当然であろう。

理由を列挙する。

「驚く」理由として、

1. 他の教科の単位までなくなるとは思わなかった。: 2人
2. そんなに罪の重いものだと知らなかった。: 1人
3. 見つかる前と前期の単位すべてがなくなるから(処罰が厳しいから): 7人
4. するべきでないわかっているのにする人がいるから: 6人
5. カニングすることに対して怖くないのか不思議に思うから。なぜこんな話を持ち出すのか。しかししょうがないようにも思った。: 1人ずつ

「驚かない」理由として、

1. よく話を聞くから: 19人
2. 悪いことだから: 5人
3. カニングする人を見たことが何回もあるから(間接的に見たものも含む): 4人
4. 特に驚きはしないが、カニングをしたあとにとられる処置が厳しかった: 3人
5. 驚く必要はない。魔がさすことはあるのでは。: 2人ずつ
6. よくあるから(よくきくから): 10人
7. したことがあるから。自分には関係ない話なので人のことはどうでもいい。驚く必要がない。: 2人ずつ
8. 自分には到底できないことだから。カニングする人間は退学にされても文句は言えないと思うから。: 1人ずつ

「わからない」理由として、

1. 処置がきつと思ったが、そのくらいの処置は普通かなと思ったから。親しい友人がしたなら驚くが、それ以外なら驚かない。: 2人ずつ
2. 対処方法が正しいのかわからない。よく話は聞く。聞いたのは結構前だから。: 1人ずつ

それぞれの理由からみても、絶対許さない人と寛容な人と別れるが、悪い行動に対しては毅然とした態度で対処することが大切である。

(2) カンニングは、「非常に悪い」が男性34%、女性32%、「悪い」が男性43%、女性59%、「わからない」が男性11%、女性5%、「やむをえない」が男性11%、女性4%である。男性77%、女性91%が「悪い」と思い、「やむをえない」と思っているのが男性11%、女性4%で、「悪い」と思っているのが圧倒的に多かった。

回生ごとに分析する。1回生の男性は76%、女性は91%、2回生の男性は79%、女性は91%、3回生の男性は75%、女性は100%、「カンニングは悪い」と回答している。「やむをえない」は、1回生の男性24%、女性3%、2回生の男性3%、女性5%である。「わからない」は、1回生の女性5%、2回生の男性19%、女性5%、3回生の男性25%である。やはり、「悪い」という回答が多かった。

理由を列挙する。

「悪い」理由として、

1. 楽をしていい点を取ると苦労している人が報われない(勉強した人に対して失礼): 7人
2. 不正だから。自分の実力がわからなくなるから、真面目に勉強した方がいい。: 5人ずつ
3. 自分の力を使わずにいい点を取ろうなどと考える行為だから: 4人
4. カンニングをした本人が困るから。カンニングしてまで単位を取るくらいなら大学に来ない方がいい。: 1人ずつ
5. 悪いことだから: 14人
6. 自分の実力じゃないし、一生懸命している人がばかばかしくなる: 10人
7. 自分のためにならない(一時しのぎ): 8人
8. 人の力を盗むことだから(ずるい): 7人
9. テストは自分の力を試すものだから(やっても無駄): 6人
10. 自分だけでなく他人に迷惑がかかることがあるから: 3人
11. よく話を聞くから。癖になってしまう。あれなかったとしても罪悪感が残るから。曲がった人が社会に出てしまう。: 1人ずつ

「やむをえない」理由として、

1. カンニングはリスクを負い、自分の能力として身につかない。自分が苦しむ。その人が精神的に未熟なのだろうから。せっぱつまっていればやむを得ない。カンニングを見破れない先生が悪い。自分がしたことがあるから。一生懸命した人ほどやるから。: 1人ずつ

「わからない」理由として、

1. カンニングに対して考えたことがない(実際見たことがない)。テスト形式に問題がある。記憶するだけの勉強は必要ない。: 2人ずつ
2. 善悪を安易に判断するのは危険だから。点を取ろうとする努力と受けとめられないでもない。自己の判断だと思う。悪いことだが、やりたくなる気持ちはわかる。: 1人ずつ

以上の理由から、カンニングをやる可能性のある学生もいることなので、あいまいにしないで、テスト形式を工夫するなりして、カンニングを食い止めなければならないだろう。

(3) カンニングをしてみたいという気持ちが「非常にわきあがったことがあった」は、男性13%、女性1%、「わきあがったことがあった」は、男子40%、女性41%、「わからない」が、男性16%、女性11%、「わきあがらなかった」が男子10%、女子16%、「全くわきあがらなかった」が男子21%、女性22%である。男性53%、女性42%が「わきあがり」、男性31%、女性38%が「わきあがっていない」。

回生ごとに分析する。1回生の男性36%、女性50%、2回生の男性30%、女性68%は「カンニングをしてみたいという気持ちはわきあがらなかった」。「わきあがった」のは、1回生男性60%、女性36%、2回生男性45%、女性55%、3回生男性75%、女性100%である。「わからない」は、1回生男性4%、女性14%、2回生男性24%、女性5%、3回生男性5%である。

カンニングをしてみたいという気持ちはありながら、悪い事だという認識はあるので行動にはストレートにあらわれないのであろう。

理由を列挙する。

「わき上がらなかった」理由として、

1. やってはいけないとわかっているから：7人
2. 自分には到底できないことだから考えたこともない：4人
3. 人の答えを知りたいと思うほど勉強不足のまま試験を受けたことはない：3人
4. 自分の力で頑張りたいから。自分の人生を棒に振りたくない(停学になりたくないから)：2人ずつ
5. 自分は心の大きな人だから。自分の力が過大評価されると後々困るから。カンニングする人が嫌いだから。罪悪感を感じるから。勉強をきちんとしてきたのであればカンニングはしたくない。：1人ずつ
6. する気にはならない：4人
7. テストを行う意味がなくなってしまう。罪悪感を感じるから。できないのは自分の責任だから。自分のためにならないから。：2人ずつ
8. カンペを作るのも面倒だから。悪いことだから。何の意味もないから。：1人ずつ

「わきあがった」理由として、

1. 満点が取れそうなのにわからなかったり、全くわからず、単位を落としそうな時。全くわからなかったから。：2人ずつ
2. どうしても記憶しきれない時。単位がとれないと困るから。好奇心、楽をしたいという気持ちがあったから。：1人ずつ
3. 単位や点数が必要なのに勉強してもわからなかったから：12人
4. 勉強するのがしんどかった、頭に入らなかった。勉強する時間が足りず、せっぱつまっていた。：6人ずつ
5. 難しくて悔しかったから。どうしても重い出せなかったから。：2人ずつ
6. 解けないと居残りだった。わからないといらいらすから。子どもだったから。最小限の

努力で最大限の利益を得たいと思うこともあった。テストができないと先生が怒るので。ばれなければいいかと思って。みんながしているならしなければ損だと思った。小テストなどでは思った。：1人ずつ

「わからない」理由として、

1. 人間の心はわからない：3人
2. 追いつめられたら考えたが、実際にはしない：2人
3. 点は高い方がいいけど、自分で解かないと意味がない。そこまでせっぱつまったことはない。するくらいならあきらめる。やって、どうにかなるものなのか。：1人ずつ

(4) カンニングは道徳的に悪いとわかっていても、好奇心やいたずらでやってしまうということは、「非常にまちがっている」は、男性15%、女性20%、「まちがっている」は男性0%、女性49%、「わからない」は男性23%、女性19%、「まちがっているとはいえない」は男性16%、女性10%、「全くまちがっているとはいえない」は男性65%、女性2%である。男性55%、女性69%が「まちがっている」、男性22%、女性12%が「まちがっているとはいえない」、ということから、当然、男性も女性も正しい回答をしていることになる。

回生ごとに分析する。1回生の男性60%、女性76%、2回生の男性48%、女性50%、3回生の男性75%、女性100%は、「まちがっている」と判断している。1回生の男性28%、女性12%、2回生の男性21%、女性14%は「まちがっているとは言えない」と回答している。「わからない」は、1回生男性12%、女性36%、2回生男性30%、女性36%、3回生男性25%である。

理由を列挙する。

「まちがっている」理由として、

1. 悪い事は悪い：6人
2. 大学生にもなって好奇心やいたずらではすまされない：5人(非常にまちがっている)
3. 真面目にやっている人が損をするから：3人
4. 他の人にも迷惑がかかる。そこから犯罪に繋がる。したいならばすればいいが、その後のことは個人の責任。：1人ずつ
5. 悪いことだから：15人
6. 大学生にもなって好奇心やいたずらではすまされない：9人(まちがっている)
7. 自分のためにならない：5人
8. 自分の気持ちの甘さ：3人
9. 勉強に時間をかけている人もいるので：2人
10. 考え方が卑屈：1人

「まちがっているとは言えない」理由として、

1. 人間誰でも魔がさす：4人
2. 自業自得：3人
3. 好奇心があってもいい：2人

4. 何が善で何が悪かは一概には言えない：1人
5. 人間誰しも間違いはあるから：2人
6. 一度カンニングをすることでカンニングは悪いことだと気づけばいい。何も得しない、特に誰も困らない。：1人ずつ

「わからない」理由として、

1. 大学生にもなって好奇心やいたずらではすまされない。魔がさすことがあるので無くすことは難しい。：3人ずつ
2. やるのは個人の自由：2人
3. 悪いと思っても相手を説得させる説明ができない。何が善で何が悪かは一概にはいえない。やってしまったら自首し悔い改めるべき。：1人ずつ

(5) カンニングの仕方を考えるよりは、「勉強した方がはるかによい」は男性34%、女性49%、「勉強した方がよい」は男性39%、女性44%、「わからない」は男性27%、女性6%である。男性73%、女性93%が「勉強した方がよい」ことを考えているので安心した。

回生ごとに分析する。1回生の男性68%、女性96% 2回生の男性78%、女性86%、3回生の男性50%、女性100%が「勉強した方がよい」と回答している。「わからない」は、1回生の男性32%、女性3%、2回生の男性21%、女性14%、3回生の男性50%である。

理由を列挙する。

「勉強した方がよい」理由として、

1. 自分のためになる：18人
2. カンニングはばかばかしいから(時間の無駄): 12人
3. 当然：5人
4. カンニングしたという罪悪感を持ち続けるより楽：3人
5. テストの本来の意味が失われるから：2人
6. カンニングしてもその答えがあっているかどうかわからないから。カンニングは失敗したらリスクが大きいから。手間がかからない。カンニングは悪いことだから。：1人ずつ
7. カンニングの準備が面倒だから(その分勉強した方がよい): 8人
8. 正しいことだから。自分のためになる。：6人ずつ
9. カンニングペーパーを作ることは勉強になる。いい点を取りたいなら自分で勉強するべき。：3人ずつ
10. カンニングでいい点を取っても達成感がない。カンニングは失敗した時の代償が大きい。：2人ずつ
11. カンニングするくらいなら単位を落とした方がまし。真面目にやった人が損をするから。カンニングをする人は情けない。時間は有効に使うべきだ。：1人ずつ

「わからない」理由として、

1. カンニングペーパーを作ればそれだけ勉強になる：6人
2. どちらが効率がいいかわからない：3人

3. その場しのぎならカンニングの方が楽：2人
4. 生理的に勉強を続けてやることができない人もいるから。テストの方法自体や考え方も変えてほしい。勉強することが必ずしもいいとは限らない。：1人ずつ

(6) カンニングとは、のあとに文章をつなげてもらい、学生の内面をさぐろうとした結果について、多い順から列挙する。

1. いかなる理由があってもやってはいけない行為：48人
2. 精神的に弱い人のやる行為：25人
3. 自分のためにはならない：20人
4. 愚の骨頂：12人
5. 最終手段、腹立たしいこと：8人
6. 他人に迷惑がかかる：7人
7. 中毒性のある行為：6人
8. 効率がいいとは思えない、ドキドキする、：5人
9. 自分とは関係ないこと、甘い誘惑、：4人
10. ばれないようにするべき、カッコ悪い、：3人
11. どこまでが含まれるのかわからない、教師、自分、親などへの冒涇、発見できない人の方が悪い：2人
12. 学歴社会が生んだもの、知恵の勝利、知性の敗北、戦い、人の心を映し出すもの：1人

これらの文章から、一応まともに答えているのがわかる。

(7) カンニングについての自由記述を多い順から列挙する。

1. カンニングさせてしまう環境を作るのもどうかと思う。：9人
2. カンニングにはリスクがともなうので、やりたい人はやればいい。自分のためにならない。：7人ずつ
3. 良くないこと。：5人
4. 事情によってはしょうがない。自分もしたくなるときがある。やろうとは思わない。：3人ずつ
5. 腹立たしい。学歴社会が悪い。：2人ずつ
6. カンニングペーパーを作ることによって、頭に入るはずだから意味がない。カッコ悪い。カンニングしてまでいい点を取ろうとする人がわからない。自分がしたときにすごく後悔した。うまくできる人がいたら見てみたい。この世からなくなるといい。カンニングすることは自分の心の弱さの現れ。日頃から勉強するべき。どうしてやってはいけないのかを教えていかなければならない。子どもの頃、一度経験しておくのもいいかもしれない。カンニングよりは白紙で出すべき。積極的に勉強したいと思える授業が少ない。：1人ずつ

絶対いけないという性善説にたつのか、やってもいいかなという性悪説にたつのか、両極端

に考えてみると、筆者は、どういう状況であれ、カンニングは絶対悪いと言う考えをもっている。学生の考えについていけない場合がある。頭が固いからだという人がいるとしたら、その人の道徳観はどうなっているのだろうか？教師の立場であれ、学生の立場であれ、立場によって違うと言う態度をとる人にも疑問をもつ。

以上、いろいろなデータからよみとれば、仮説(1)(2)(3)とも支持される。

(今後の課題)

カンニングは絶対悪いことであり、絶対してはいけないということを全員に周知徹底させるプログラムを考える。これは、道徳性の発達全般にいえるプログラムとも共通するはずである。良心という概念からも研究できるかも知れない。

(注) データ整理は酒井氏、本論の問題意識、まとめ、文章作成は佐藤である。対象者の皆様、調査にご協力頂きまして誠に有り難うございました。